

ジョブカフェちば 公務員・就職セミナー開催

6月3日(火)の1時から3時までの2時間、千葉若者キャリアセンター「ジョブカフェちば」から2名の講師を迎え、総合学習の一環として就職・公務員セミナーが本校会議室で開催されました。

本校3年生の就職・公務員希望者約20名が、多様なゲームを通して楽しみながら就職に対する心構えを学び取ることが出来ました。セミナーに参加した生徒達は、この2時間のセミナーに、普段の授業ではあまり感じられない、充実した満足感に満ちあふれた顔で教室をあとにしていきました。

前半の1時間は「働くこと」とはどのようなことか。さらにそれをふまえて、企業側が高卒採用で何を重視しているのかを、「チームの欠員補充を考えよう」というゲームを通して考えさせたりしていました。私にとっても意外であったのですが、企業の経営者の約70%が求めているのは「コミュニケーション能力」や「協調性」「基本的な生活態度」であったということです。「責任感」とか「部活動・生徒会活動」などは20～30%にすぎませんでした。



後半の1時間は、社会生活に於いてもっとも大切なコミュニケーション能力の育成という視点から、三つのゲームを通してコミュニケーション能力の育成の方法を学んでいくというものでした。その三つのゲームとは「グループ対抗情報伝達ゲーム」、「ペアーでのインタビュー」、「ペアー紹介」でした。それぞれのゲームに、生徒達は楽しみながらも真剣に取り組んでいました。その生徒達の発表はどれも内容が充実していて素晴らしいものでした。

コミュニケーションにおいて一番のポイントは、「相手の話をよく聞くこと」、そして「相手に分かる言葉で的確に伝えること」だそうです。そうするためにはどうすることがよいのか、今回のセミナーで生徒達もその理解が進んだような気がしました。



生徒の感想の中に、「人のことはうまく伝えられたが、自分のことを伝えるのは難しい」というのがありましたが、これは年齢を重ねても難しいものです。しかし、このことは就職希望者に限らず、自己を十二分にPRしていかなければならないAO入試、推薦入試での受験を考えている諸君にも、共通した課題だと思います。面接官の質問をよく聞き、その質問に的確に答える。皆さん「コミュニケーション能力」の醸成を是非考えてみましょう！

1年生 進路講演会

5月29日(木)LHRの時間に外部講師による進路講演会が開かれました。

講師の先生は東京都の校長を経て、その経験を生かし、現在、各地の学校で講演会をされている方です。今までに廻られた学校は2600校以上にも及びます。

29日、講演の始まる1時間前に来校されました。講演の時はいつも早めに学校を訪れその学校の生徒たちとの会話を心がけているそうです。

先生が応接室を出たとき、3年生が総合学習「進路研究」のために進路資料室前で資料を探していました。その3年生達皆から「こんにちは」という挨拶がありました。その3年生の一人に「自分の進路を今どのように考えていますか」と声をかけると、自分の考えをしっかりと述べたそうです。また、すれ違う生徒が皆丁寧に挨拶してくれることに感激されたそうです。そして講演では「私が訪問した学校の中で数本の指に入る、礼儀正しくしっかりした生徒の皆さんです。」という話から始まりました。

どのような講演だったか、1年生の感想文を通して紹介します。



- ・ お…おはようございます。
- ・ あ…ありがとうございます。
- ・ し…失礼します。
- ・ す…すみません。
- ・ は…はいわかりました。

私は講演を受ける前、正直自分は1年生だから進路なんて関係ないと思っていました。しかし、いざ永井さんの話を聞くと、いつも開始から20分で寝てしまう私が、どんどん話に聞き入ってしまいました。永井さんの話が上手なのもそうですが、「進路」の重さがとても感じられてきて、心の中でうなずきながら聞いていました。

今はまだ、学校生活のマナーしか知りませんが、いずれ必ずビジネスマナーが大切になってきます。永井さんの話を思い出しつつ、将来の自分が安心して仕事に取り組める様に、今から少しずつビジネスの世界について勉強していきたいです。

私は今、将来保育士になりたいと思っています。子どもが大好きだからです。なので、高校卒業後は保育士資格の取れる大学・専門学校に進学したいと思っています。しかし「どこでも進学・就職」をしてしまう人がたくさんいることに驚きました。自分の人生なのにいい加減な選択はしたくありません。

永井さんの話を聞いて気づいたことがある。それは毎日ごく普通に何げなく過ごしている僕らの当たり前前のことが「隠れ項目」になっていることだった。①目線 ②服装 ③態度 ④言葉遣い

そしてもう一つ社会が求めている資格があった。内容は「オ・ア・シ・ス・ハ」という5つの言葉だ。社会に出ると応用も求められるが、それ以前に基本(当たり前)が本当に大切だということをあらためて永井さんの話からわかった。

自分自身「当たり前」をしっかり持って社会に出ようと思った。